

報道関係各位

2016年10月26日
J.フロント リテイリング株式会社
森ビル株式会社
L Real Estate
住友商事株式会社

世界のGINZAを次のステージへ
銀座エリア最大の商業施設「GINZA SIX」 2017年4月20日誕生
ワールドクラスクオリティの241ブランドが集結

2017年1月末の竣工を目指し現在開発が進む「銀座六丁目10地区第一種市街地再開発事業」は、この度、施設名称を「GINZA SIX (ギンザ シックス)」に決定いたしました。また、J.フロント リテイリング株式会社、森ビル株式会社、L Real Estate、住友商事株式会社は、本プロジェクトにより誕生する商業施設の開業日を2017年4月20日(木)に決定いたしました。

G S I X
G I N Z A S I X

再開発により生み出された圧倒的なスケールとクオリティ

日本の良き伝統や歴史を継承しながら世界の最先端を取りこみ、商業集積地として日本のシンボルとなっている銀座。この唯一無二のエリアである銀座のど真ん中に、延床面積約148,700㎡、銀座エリア最大の商業施設面積約47,000㎡を誇る「GINZA SIX」が誕生します。松坂屋銀座店の単独建替えではなく、周辺を含む2街区を合わせた再開発により生み出された圧倒的なスケールは、エリア最大・241もの多彩なブランドが集結するワールドクラスクオリティの商業空間を実現。銀座の象徴である中央通りに面した全長(間口)約115mに、世界を代表する6つのラグジュアリーブランドが旗艦店として2~5層の大型メゾネット店舗を構え、個性的なファサードにより銀座の新たな顔を創り出します。

コンセプトは「Life At Its Best 最高に満たされた暮らし」

GINZA SIXは「Life At Its Best 最高に満たされた暮らし」をコンセプトに施設づくりを進めてきました。最先端のスタイルと真のラグジュアリー、そしてサービス、環境など、すべてが高いレベルで提供されること、GINZA SIXにおける全ての体験がクリエイティブであり、真に豊かな暮らし、人生を感じることでできる施設を目指します。

ブランドスローガン「Where Luxury Begins 世界が次に望むものを」

成熟社会を迎えた今の日本において、ラグジュアリーとは単に高価で高級なものではなく、人生を豊かに充実させてくれる、最高に価値のあるモノや体験です。GINZA SIXは、「Life At Its Best 最高に満たされた暮らし」を求める人々に向けて、世界でここにしかない特別な場と仕掛けを創発し、新たな価値「New Luxury」を世界にプレゼンテーションしてまいります。

銀座に新たな磁力と歴史を創り出す。2017年4月20日、「GINZA SIX」の誕生にご期待ください。

Where Luxury Begins

世界が次に望むものを

人々の生き方、暮らし方、仕事の仕方を

豊かにする New Luxury とはなんだろう。

GINZA SIX は、そのことについて

常に自らに問い、考え、学び続ける。

そして、その姿と答えを

日本へ、世界へとプレゼンテーションし続ける

世界でも極めて特別な場所でありたい。

「GINZA SIX」に込めた想い

銀座の誇りと歴史性を引き継ぎ 6 つ星級の施設を目指す

唯一無二の街である「銀座」の歴史性、革新性を引き継ぎながら、この街とともに生き、新たな価値をもたらす存在となる覚悟と自負を表現した名前です。銀座 6 丁目の象徴として堂々とアピールするとともに、五感全てを満たすモノやコトが集まり、五感を超越した喜びや満足など新たな価値を提案する、6 つ星級の価値をもった施設であることを表現しています。

時を経ても輝きを失わない presteege 性を表現したロゴ

ゆるぎない軸をもつ銀座の精神性が反映された、簡潔で堂々としたロゴは、原研哉氏によるデザイン。

「G S I X」という、強い視覚性、幾何学性を持つ文字を、限りなくミニマルに整理してまとめています。ハイクオリティなブランド、商品、サービスを内包する施設のシンボルとして、強靱な軸をもちながら寄り添い、象徴的に機能します。時を経ても輝きを失わない presteege 性を携えたロゴデザインです。

G S I X



原 研哉氏

1958 年岡山生まれ。日本デザインセンター代表取締役社長、武蔵野美術大学教授。長野オリンピックの開・閉会式プログラムや、愛知万博の公式ポスターを制作するなど日本の文化に深く根ざした仕事も多く、「もの」のデザインと同様に「こと」のデザインを重視して活動中。

商業エリア

日本最高の商業地「銀座」に、エリア最大規模で誕生

銀座エリア最大の商業施設面積約 47,000 m² (約 14,200 坪) に、241 店舗が出店します。世界のコレクションで注目される旬なブランドが揃い、ここに来れば日本の今がわかる、世界の最新トレンドが体感できる最高の店舗ラインナップを実現しました。銀座の象徴である中央通りに面する全長(間口)約 115m には、世界を代表する 6 つのラグジュアリーブランドが旗艦店として 2~5 層の大型メゾネット店舗を構え、個性的なファサードにより銀座の新たな顔を創り出します。

ファッション以外にも、暮らしを彩るライフスタイル雑貨や、こだわりのレストラン・カフェなどが揃います。また、上質な空間、メンバーシッププログラム、プレミアムサービス、クリエイティブなアートやイベントにより、充実の時間と体験を提供します。

◇ 開業日	2017 年 4 月 20 日
◇ 商業施設面積	約 47,000 m ² (約 14,200 坪) ※共用通路等を含む
◇ 店舗数	241 店舗 (物販 210、飲食 24、サービス 7)
◇ フロア構成	
地下 2 階	食物販
地下 1 階	ビューティ
1 階~5 階	ファッション、服飾雑貨、ライフスタイル雑貨、カフェ他
6 階	書籍、レストラン他
13 階(一部)	レストラン、バンケット他
◇ 営業時間	
物販・サービス	10:30~20:30
飲食	11:00~23:30 ※一部店舗により異なる

発信力をもった旗艦店が半数を占める店舗ラインナップ

GINZA SIX には、アイデンティティと発信力をもった 241 のブランドが出店します。そのうち半数以上の 122 店舗が、「旗艦店=フラッグシップショップ」です。旗艦店は、どこよりも早く、どこよりも豊富な商品投入、どこよりも上質なサービスを提供する、ブランドにとっても特別な位置づけの店舗です。これは、世界が注目する銀座と、そこに誕生する GINZA SIX への意気込みの表れです。また、「銀座で新しい挑戦をしたい」と、銀座初出店が 81 店舗、新業態に取り組む店舗も 65 店舗集結しました。

GINZA SIX は、ネットでモノを買う時代だからこそ、特別な空間やサービスを体験できるリアルなスペースが、価値を生むと考えます。銀座という特別なポジショニングや旗艦店としての誇りをかけて、全 241 店舗が、ブランドのフィロソフィーや世界観を存分に発揮しながら、GINZA SIX と共にさまざまな展開や挑戦をしていきます。

※全店舗リストは別紙参照

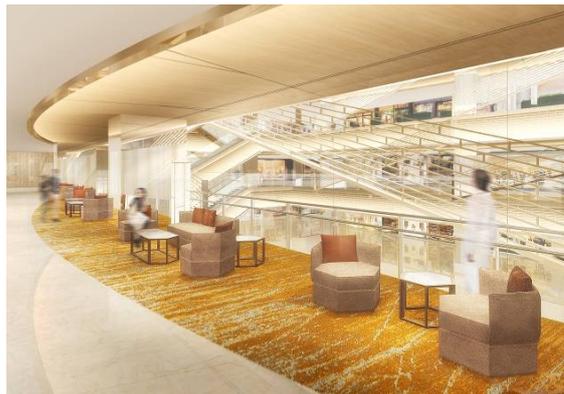


※各属性は、一部重複しています

グエナエル・ニコラ氏による「ストーリーのある、上質な空間デザイン」



中央吹き抜けイメージ



館内イメージ

商業施設の共用部インテリアデザインは、キュリオシティ／グエナエル・ニコラ氏が担当。面積が約47,000㎡もある巨大な商業空間を、親しみやすくわかりやすいものにするため、「人」の感情や身体感覚を第一に考えたヒューマンスケールの空間を創出します。

銀座や京都に残る路地をイメージして、通路を適度に雁行させることで、そぞろ歩く楽しみを演出。また、日本建築の障子や行燈などの光を参考に、風のように光が全体に回るよう計画しています。クオリティにこだわりマテリアルを吟味するなど、トータルな質の高さを重視しており、上質な空間が個々の店舗をさらに惹き立てます。



グエナエル・ニコラ氏 Gwenael Nicolas

1966年、フランス生まれ。E.S.A.G(パリ)でインテリアデザイン科、RCA(ロンドン)でインダストリアルデザイン科を卒業。インテリア、建築から化粧品、グラフィックデザインまでシームレスに活動。近年は、海外プレステージブランドのストアデザインをワールドワイドに展開。

世界的クリエイター、アーティストとのコラボレーションによる クリエイティブなエネルギーと驚きに満ちたアート体験

GINZA SIX では、世界的に活躍する注目のアーティストやクリエイターとのコラボレーションにより、感性を刺激するインスタレーションやアート作品を館内各所に展示します。施設の中心部にある巨大な吹き抜けは、森美術館館長 南條史生氏の監修による、現代アートの巨大な展示空間となります。オープニング展示は、前衛芸術家・草間彌生氏によるインスタレーションを展開します。

その他、館内2カ所にある高さ約12mの壁面(リビングウォール)には、対となる2つのアート作品を展示します。一方は、植物学者兼アーティストのパトリック・ブラン氏による、日本に生息する固有種の植物を織り交ぜたアート作品。もう一方は、プログラミングによって24時間365日変化し続ける映像作品を、ウルトラテクノロジスト集団のチームラボが手掛けます。

<中央吹き抜けアート:オープニングアーティスト>



©YAYOI KUSAMA

前衛芸術家
草間彌生氏

<リビングウォールアーティスト>



植物学者兼アーティスト
パトリック・ブラン氏
(Patric Blanc)



ウルトラテクノロジスト集団
チームラボ

ショッピングを楽しむためのメンバーシッププログラム

モバイルアプリ「GINZA SIX アプリ」は、GINZA SIX でのショッピング体験をよりエキサイティングなものにしてくれるツールです。誰でも無料でダウンロードすることが可能で、最新ニュースの受け取りや施設内のナビゲーションとして利用できます。さらに、ポイントカード機能や施設内のサービス予約、イベント申し込みなど、多彩な機能も備えます。

また、クレジット機能付きの「GINZA SIX カード」(有料)も2種そろえ、カードの種類やご利用額に応じてプレミアムなサービスをご提供します。



「GINZA SIX アプリ」画面イメージ



「GINZA SIX カード」イメージ
左:プレステージカード(年会費 5 万円)
右:ゴールドカード(年会費 5 千円)

One to One のおもてなしを体感できるプレミアムサービス

上質な空間とサービスを提供するプレミアムラウンジ「LOUNGE SIX」

上顧客のための特別なラウンジ「LOUNGE SIX(ラウンジ シックス)」。
多言語対応のコンシェルジュが常駐し、お客様へ One to One のおもてなしをいたします。GINZA SIX 内の飲食店とコラボレーションした特別メニューの提供や、パーソナルスタイリング、メイクアップサービスのほか、文化イベントの開催なども予定しています。

空間デザインは、新素材研究所の杉本博司氏と榊田倫之氏が手掛け、日本ならではの伝統的素材に現代的なディテールをほどこした独自のデザインが、新しい日本の美意識を感じられる空間を演出します。



「LOUNGE SIX」エントランスイメージ

新素材研究所

新素材研究所は杉本博司と榊田倫之によって 2008 年に設立。
旧素材を扱った建築をつくることこそが、いま最も新しいと確信し、設計に取り組む。



杉本博司氏



榊田倫之氏

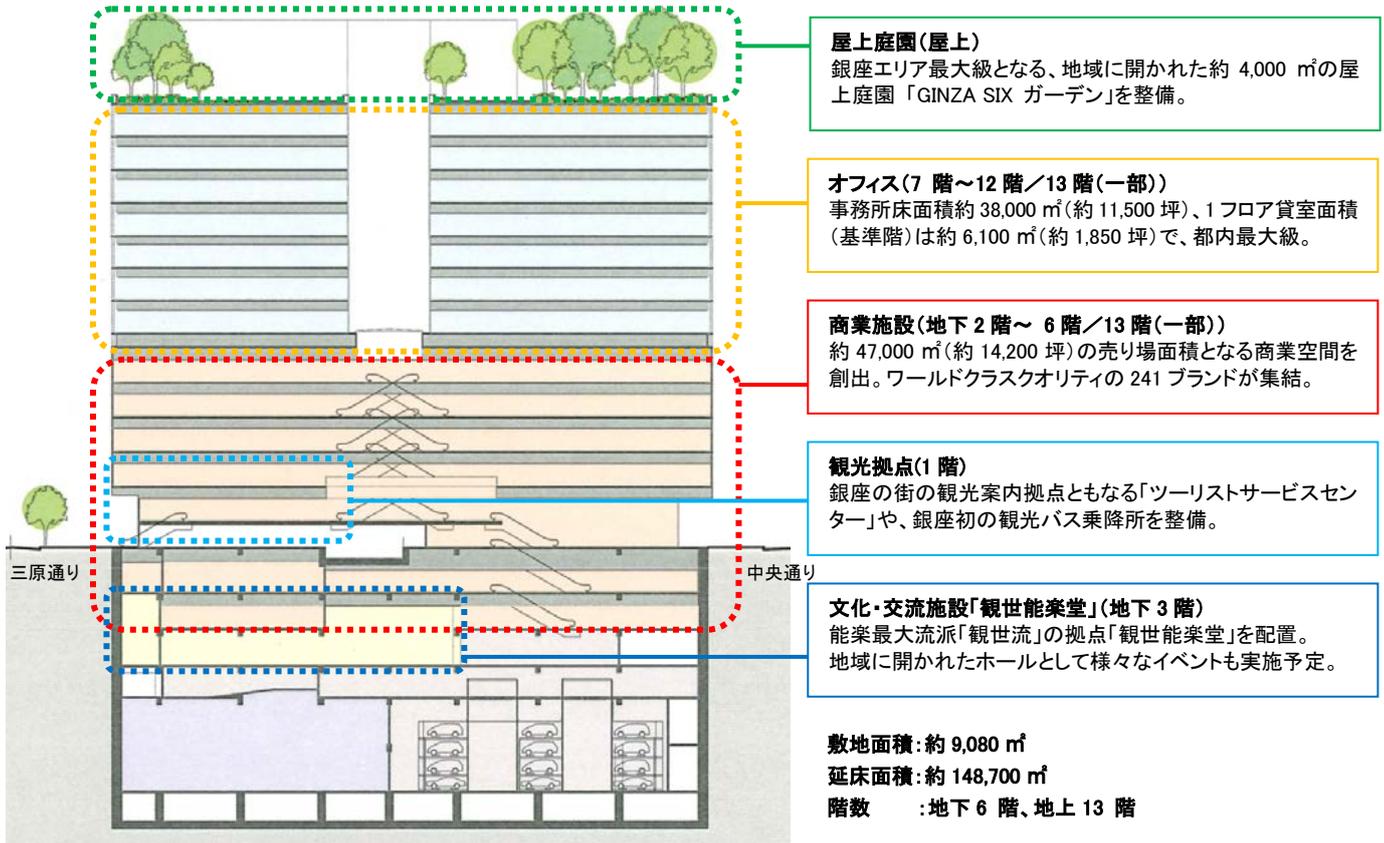
バレーパーキングを銀座エリアの商業施設で初導入

ホテルや海外ラグジュアリーモールでは馴染み深いバレーパーキングを、銀座エリアの商業施設としては初めて取り入れます(有料)。お出迎えからお見送りまで、きめ細やかなサービスでおもてなしいたします。

GINZA SIX 全体概要

ワールドクラスクオリティと文化性をもつ大規模複合施設

GINZA SIX は、「松坂屋銀座店」跡地を含む街区（銀座六丁目 10 番）と隣接する街区（銀座六丁目 11 番）の 2 つの街区約 1.4ha を一体的に整備する市街地再開発事業です。241 のブランドが集積する商業施設、大規模なオフィス、文化・交流施設「観世能楽堂」などから構成された、銀座エリア最大規模の複合施設となります。さらに、バス乗降所や地域に開かれた屋上庭園、災害時の帰宅困難者受入れ環境も整備することで、地域の利便性や快適性、防災機能向上に貢献します。



銀座の街並が持つ歴史と美しさを惹き立てる建築

銀座の“新しい顔”となる建築は、谷口吉生氏が基本設計と外観のデザインを担当し、鹿島建設株式会社と協働し設計を行っています。ファサードの「ひさし」と「のれん」をイメージしたデザインは、どちらも人々を迎えるのにふさわしい、伝統的な日本の形式です。将来、店舗や流行が変化した場合にも、のれんを掛け替えることで容易に対応し、新しいイメージを演出できます。

「建築は中身を引き立てる器である」という考えのもと、ファサードを含め、建築自体はできるだけシンプルに仕立て、そこに咲く「花」であるショップのデザインが際立つように計画されています。それ自体は、ほとんど装飾のない床の間に、季節に応じて掛け軸や生け花を飾り、四季の移ろいを楽しむ日本伝統のしつらえにも通じる考え方です。



GINZA SIX 外観イメージ



谷口 吉生 氏(谷口建築設計研究所)

1937 年生まれ。建築家。ハーバード大学で建築を学び、丹下健三氏のもとで経験を積む。主な作品に「東京都葛西臨海水族園」「東京国立博物館法隆寺宝物館」「ニューヨーク近代美術館」「京都国立博物館平成知新館」など。

©Timothy Greenfield-Sanders

文化・交流施設「観世能楽堂」(地下3階)

能楽最大流派「観世流」の能楽堂が誕生。伝統文化の発信拠点に

能楽最大流派である観世流の拠点「観世能楽堂」(480席、約1,600㎡)。日本の伝統文化の発信拠点として、国際的な観光地である銀座を盛り上げていきます。また、地域に開かれたホールとしてさまざまなイベントも実施していきます。さらに、災害発生時には帰宅困難者の一時滞在スペースとしても活用します。



※実際の能楽堂とは異なります

観光拠点(ツーリストサービスセンター/観光バス乗降所)(1階)

国際的な商業・観光拠点の形成

国内外からのお客様に向けて、観光案内やチケット発券、外貨両替、免税、手荷物預かり、宅配、こだわりのお土産も扱うコンビニエンスストアなど、便利な機能をワンストップで備えた「ツーリストサービスセンター」を設置。カフェも併設し、トラベラー同士のコミュニケーションの場としても機能します。また、三原通りに面して、観光バス乗降所を設置。“銀座の玄関口”となるような機能を整備することで、銀座エリア全体に貢献する、国際的な商業・観光拠点を形成します。



ツーリストサービスセンターイメージ



観光バス乗降所イメージ

屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」(屋上)

銀座最大、地域に開かれた約4,000㎡の屋上庭園

都会の中で自然を身近に感じられる環境をシンボリックに表現した庭園は、銀座を訪れた人がゆったりと交流する憩いの場となります。シーズンに合わせたイベントの実施も予定しています。



屋上庭園イメージ

オフィス(7~12階/13階一部)

都内最大級の1フロア貸室面積

商業施設の上階は、7層にわたるオフィスフロア(事務所床面積約38,000㎡)になります。1フロア貸室面積(基準階)は都内最大級の約6,100㎡。中央通りを眼下に、1辺100mを超える大型プレートを有した最高のオフィス環境が、銀座の中心に実現し、オフィスワーカー約3,000人を新たに創出します。



オフィススカイロビーイメージ

※本リリースの内容は2016年10月26日時点の情報であり、今後、変更になる場合があります。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

GINZA SIX PR事務局(株式会社サニーサイドアップ内)

担当: 鈴木隆仁、岩崎彩加、澤井亨、陶山竜規

TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050 E-MAIL: g6_pr@ssu.co.jp

HP: <http://ginza6.tokyo/>

<参考資料1>

GINZA SIX リテールマネジメント株式会社 会社概要

J.フロント リテイリンググループの中核企業である株式会社 大丸松坂屋百貨店、森ビル株式会社、L Real Estate および住友商事株式会社の4社は、共同出資によりGINZA SIXリテールマネジメント株式会社を設立し、「銀座六丁目 10 地区第一種市街地再開発事業」の商業施設におけるリーシング、サービス・プロモーション、施設管理計画等、商業施設の開業準備業務ならびに開業後の運営業務全般を行います。



J.フロント リテイリング株式会社/

株式会社 大丸松坂屋百貨店

小売を中核事業とする企業として、マーケティング、商品、サービスなどのノウハウや、JFR グループ内のリソースを活かして、プランニングから主体的に関わっていきます。

森ビル株式会社

「都市を創り、都市を育む」総合ディベロッパー。六本木ヒルズなどで培ったデベロップメントとタウンマネジメントのノウハウなど、豊富な開発・運営経験を活かし、施設の魅力と賑わいづくりに貢献します。



L Real Estate

LVMH グループをスポンサーとするグローバルな不動産投資・開発会社で L Catterton の一員。ラグジュアリーリテールを中心とする複合開発プロジェクトに注力し、アイコンックな商業開発の専門性をもって本プロジェクトに寄与します。



住友商事株式会社

晴海アイランドトリトンスクエアなどの再開発やテラスモール湘南などの商業施設の開発に加え、ビル事業や住宅事業といった、国内外におけるさまざまな不動産事業の実績とノウハウを活用します。

<会社概要>

商号:	GINZA SIX リテールマネジメント株式会社 (2016年10月、旧商号 G6 リテールマネジメント株式会社から変更)
事業内容:	銀座六丁目再開発商業施設(GINZA SIX)の開業準備、開業後運営の受託 テナントリーシング テナント管理全般 サービス・プロモーション企画、運営 施設管理計画の立案、遂行 総務全般、購買管理
設立日:	2015年2月2日
資本金:	5,000万円
出資者:	株式会社大丸松坂屋百貨店、森ビル株式会社、L Real Estate、住友商事株式会社
代表取締役:	水野 和明
保有資格:	宅地建物取引業 東京都知事(1)第97612号
所在地:	東京都中央区銀座五丁目13-12 サンビル5階

